

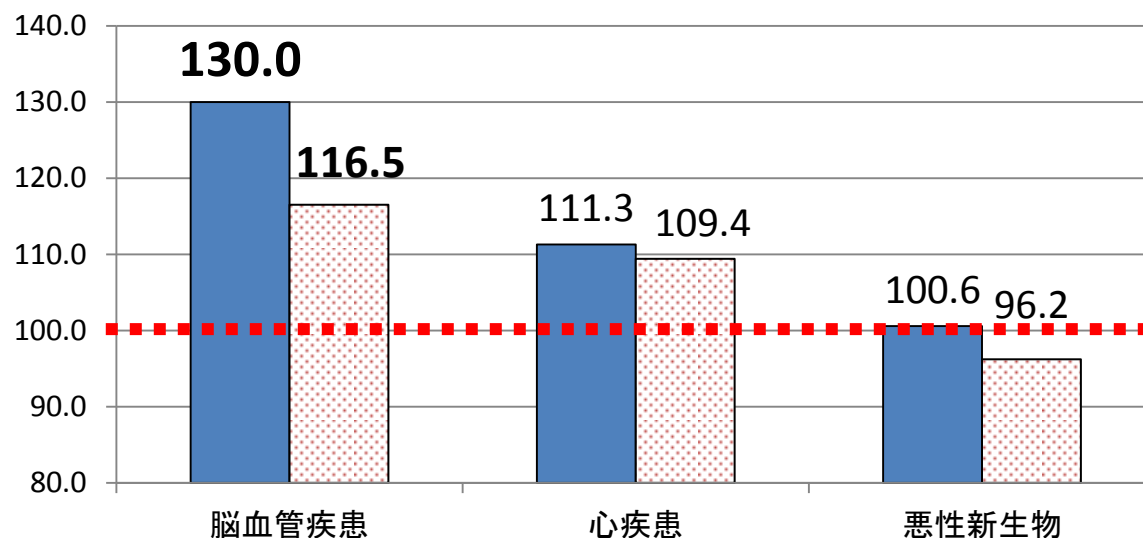


「おおさき健康レベルアップ宣言」の背景 大崎圏域の健康課題

大崎圏域の課題

- 平均寿命・健康寿命が短い
- がんの死亡比が高い（特に男性）
- 心疾患の死亡比が高い
- 脳血管疾患の死亡比が高い

【主な死因の標準化死亡比EBSMR】



H28人口動態調査から算出

■ ■ ■ ■ ■ 全国値を100

■ 男性

□ 女性

データ出典：
データからみたまやぎの健康H30年度版

大崎圏域の課題（食生活分野）

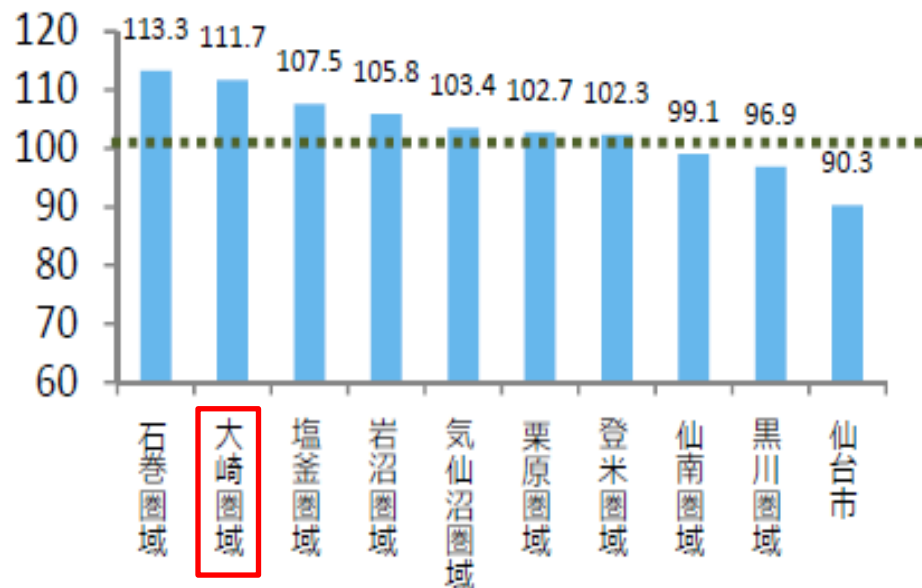
● 夕食後に間食をする人が多い

特定健診問診表で「夕食後に間食をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答したもの

夕食後間食（平成27年度）

標準化該当比

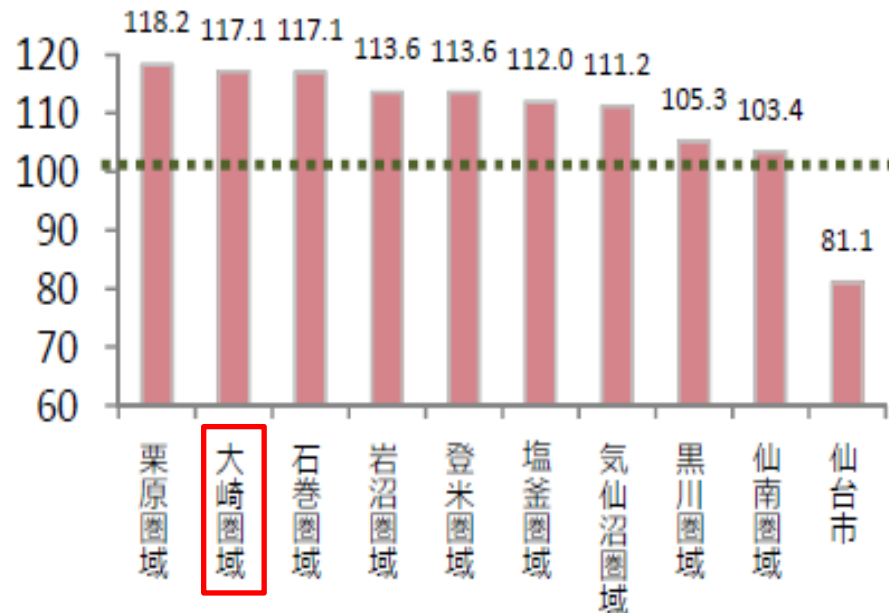
男性



夕食後間食（平成27年度）

標準化該当比

女性

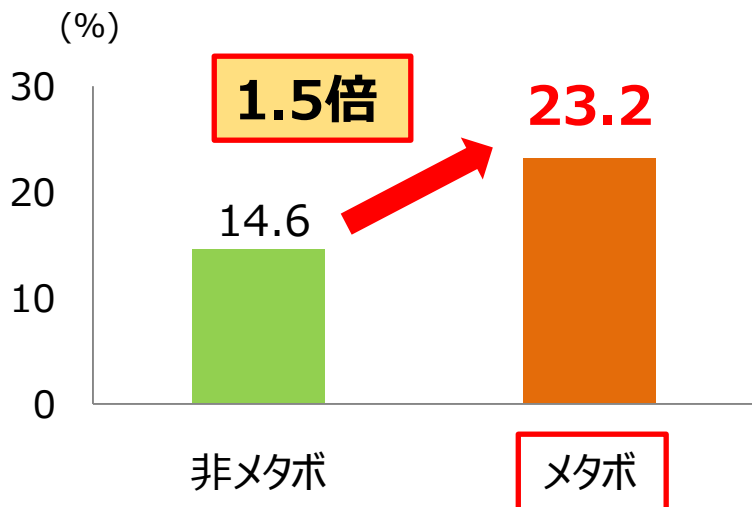


データ出典：データからみたまぎの健康 -平成29年度版-

平成27年おおさき働く人の食生活状況調査から 大崎圏域の課題（食生活分野）

● 夕食後に間食をする人が多い

夕食後に間食をとる者の割合

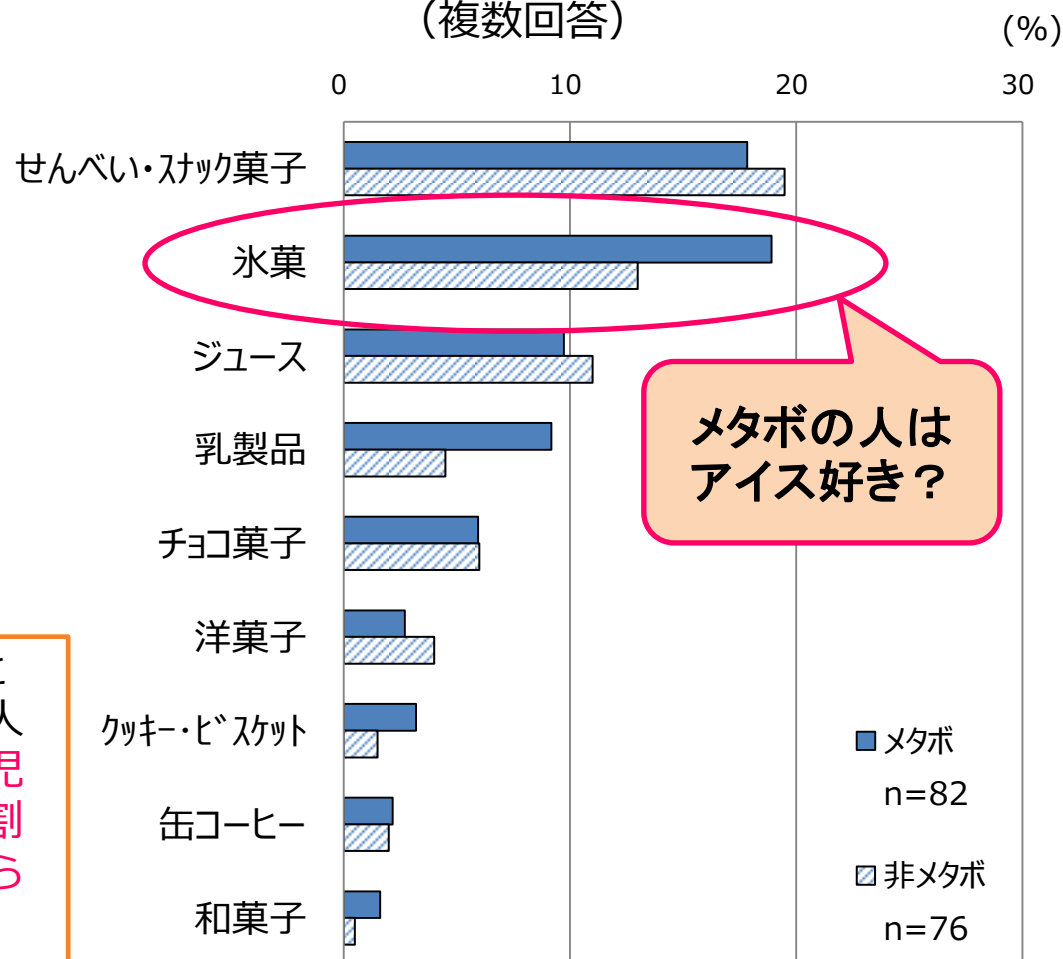


(平成27年度おおさき働く人の食生活状況調査)

夕食後に間食を週3回以上していると回答した人が約2割みられ、メタボの人に多くみられました。大崎地域は、幼児や小・中学生も夕食後に間食している割合が高く、親子共に肥満の要因と考えられます。

夕食後に間食として食べる人が多いもの

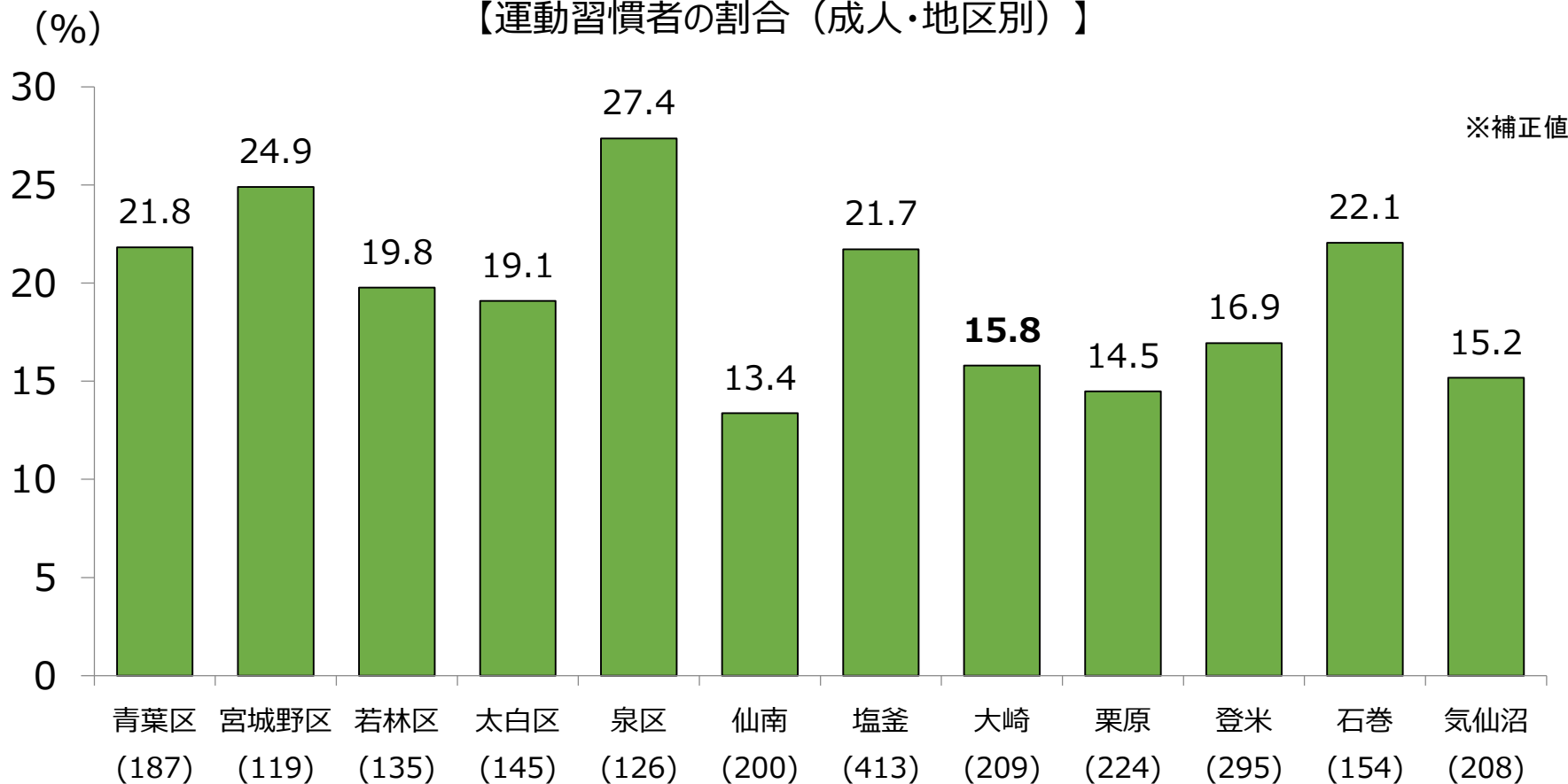
(複数回答)



大崎圏域の課題（運動分野）

● 運動習慣のある人の割合が少ない

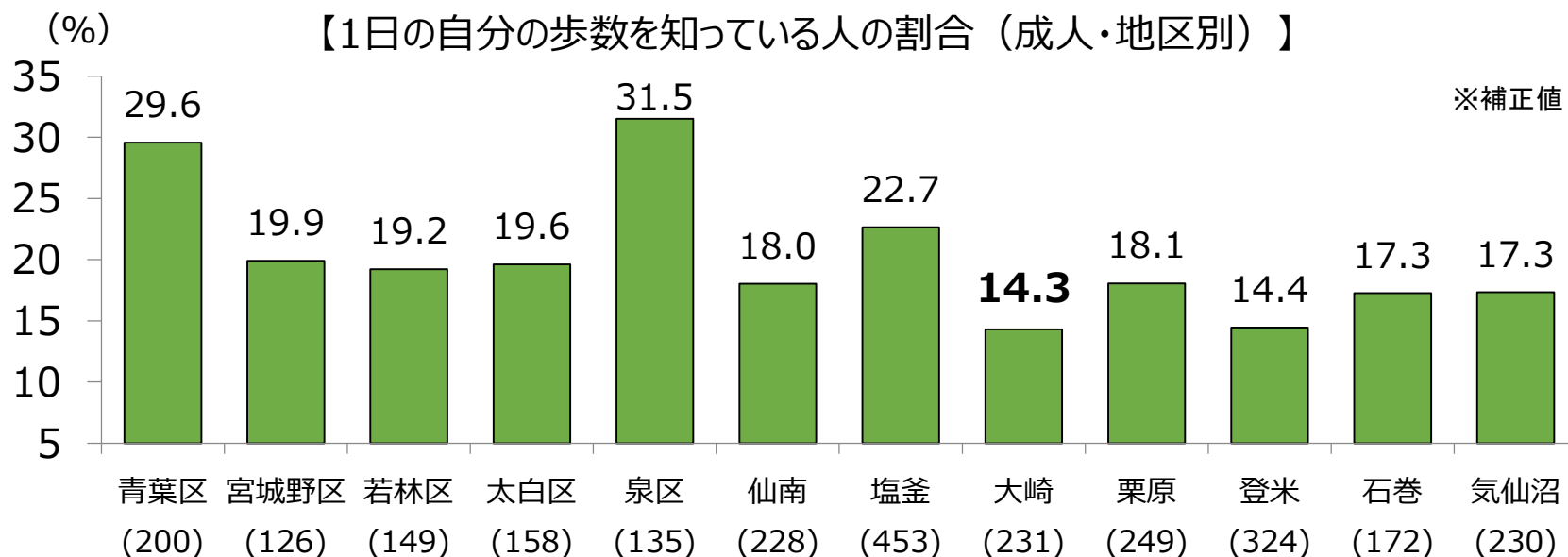
【運動習慣者の割合（成人・地区別）】



データ出典：宮城県県民健康・栄養調査(H28)

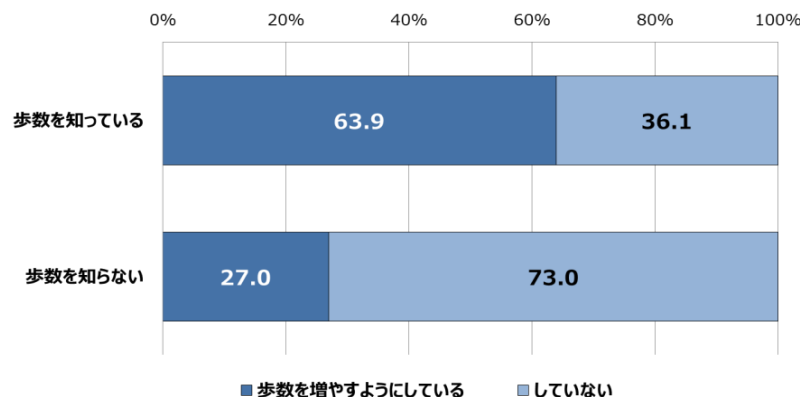
大崎圏域の課題（運動分野）

● 自分の歩数を知っている人の割合が少ない



【参考】

自分の1日の歩数を知っている人は、歩数を増やすように意識している傾向。

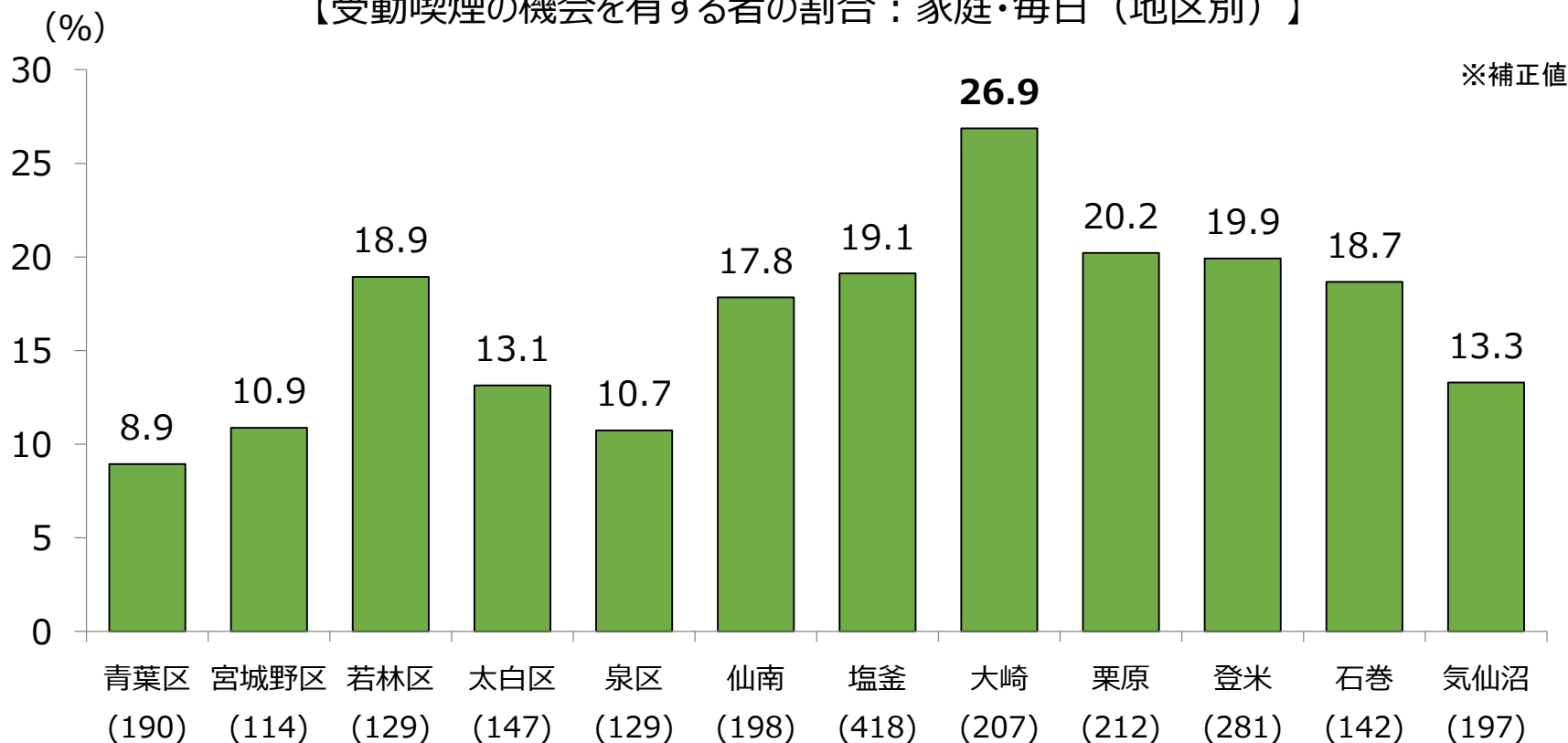


データ出典：宮城県県民健康・栄養調査（H28）

大崎圏域の課題（たばこ分野）

● 家庭での受動喫煙の機会が多い

【受動喫煙の機会を有する者の割合：家庭・毎日（地区別）】

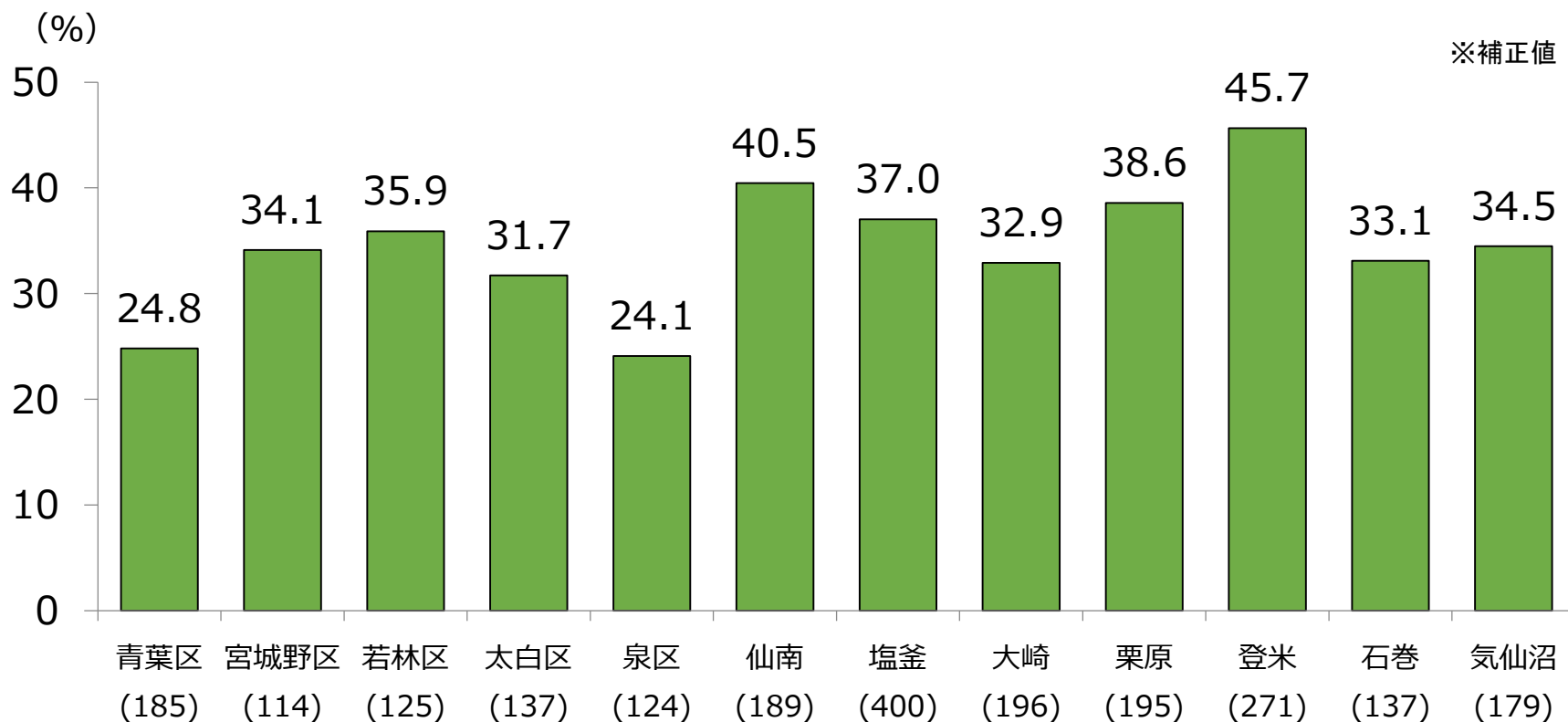


データ出典：宮城県県民健康・栄養調査（H28）

平成28年宮城県県民健康・栄養調査から 大崎圏域の課題（たばこ分野）

●職場での受動喫煙は、3人に1人が月に1回以上

【受動喫煙の機会を有する者の割合：職場・月1回以上（地区別）】



データ出典：宮城県県民健康・栄養調査（H28）